

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芦澤 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	39,505	△2.0	150	△49.4	371	△30.5	303	△52.0
29年3月期第3四半期	40,330	△2.1	297	83.4	534	43.8	631	152.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,694百万円 (35.9%) 29年3月期第3四半期 1,246百万円 (162.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	42.90	—
29年3月期第3四半期	89.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	24,220	14,439	59.6
29年3月期	18,841	12,817	68.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,439百万円 29年3月期 12,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成30年2月6日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	53,000	2.3	220	4.8	425	△7.2	260	△52.7
								36.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,261,706 株	29年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	194,546 株	29年3月期	193,953 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	7,067,461 株	29年3月期3Q	7,069,445 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、底堅さを増しており、また、設備投資は企業収益や業況感が改善する中で、緩やかな増加基調で推移した一方で、米国や東アジア諸国の経済や政治情勢の不確実性の高まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、食中毒問題に伴う生鮮魚販売への影響、海水温や回遊水域の変化による一部魚種の記録的不漁等に伴う漁獲量の減少、市場外流通の増加など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成29年度から平成31年度まで3カ年の中期経営計画「MMプラン4th Stage」を策定しました。新しい中期経営計画では、「原点回帰からの新たな挑戦」をテーマとし、市場としての役割を果たすべく5つの重要戦略を掲げ、顧客ニーズに応じた高付加価値商品・サービスの提供やグループコミュニケーションの更なる強化を図り、目標達成に向けて邁進しているところであります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は39,505百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ824百万円(△2.0%)の減収となりました。また、生鮮魚、輸入品全般にわたる魚価高騰の影響を販売価格に転嫁しきれず、売上総利益率が低下したことにより、営業利益は150百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ146百万円(△49.4%)、経常利益は371百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ162百万円(△30.5%)それぞれ減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、資金運用にかかる投資有価証券売却益16百万円を特別利益に計上したものの、前第3四半期連結累計期間に固定資産譲渡に伴う固定資産売却益340百万円を特別利益に計上したこともあり、303百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ328百万円(△52.0%)の減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は31,501百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ442百万円(△1.4%)の減収となり、営業利益は57百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ93百万円(△61.9%)の減益となりました。

(水産物販売事業)

売上高は7,764百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ371百万円(△4.6%)の減収となり、営業利益は42百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ38百万円(△47.7%)の減益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は68百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ2百万円(3.8%)の増収となりましたが、新規物件取得に伴う初期投資費用の影響もあり、営業利益は32百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ9百万円(△22.5%)の減益となりました。

(運送事業)

売上高は171百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ12百万円(△7.0%)の減収となり、営業利益は18百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ3百万円(△16.0%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、24,220百万円と前連結会計年度末に比べ5,379百万円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,828百万円、商品及び製品の増加741百万円及び投資有価証券の時価評価等による増加1,859百万円によるものであります。

負債は、9,781百万円と前連結会計年度末に比べ3,757百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3,318百万円、未払法人税等の減少173百万円及び投資有価証券の時価評価に伴う長期繰延税金負債の増加609百万円によるものであります。

純資産は、14,439百万円と前連結会計年度末に比べ1,622百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加232百万円及びその他有価証券評価差額金の増加1,391百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月19日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,281	1,559
受取手形及び売掛金	4,187	7,016
有価証券	20	—
商品及び製品	1,370	2,111
その他	20	129
貸倒引当金	△671	△669
流動資産合計	7,209	10,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,157	1,323
土地	1,294	1,765
リース資産(純額)	75	57
その他(純額)	45	60
有形固定資産合計	2,572	3,207
無形固定資産		
ソフトウェア	152	102
その他	12	12
無形固定資産合計	164	114
投資その他の資産		
投資有価証券	8,808	10,668
長期貸付金	9	10
破産更生債権等	469	416
その他	65	69
貸倒引当金	△458	△413
投資その他の資産合計	8,894	10,750
固定資産合計	11,631	14,072
資産合計	18,841	24,220

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,750	6,069
未払法人税等	196	22
引当金	55	13
その他	272	328
流動負債合計	3,274	6,434
固定負債		
退職給付に係る負債	589	594
資産除去債務	24	24
繰延税金負債	1,801	2,411
その他	332	316
固定負債合計	2,748	3,346
負債合計	6,023	9,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	376	376
利益剰余金	7,001	7,233
自己株式	△107	△107
株主資本合計	8,812	9,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,003	5,395
その他の包括利益累計額合計	4,003	5,395
非支配株主持分	1	—
純資産合計	12,817	14,439
負債純資産合計	18,841	24,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	40,330	39,505
売上原価	37,562	36,854
売上総利益	2,767	2,650
販売費及び一般管理費	2,470	2,500
営業利益	297	150
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	229	210
その他	10	10
営業外収益合計	242	222
営業外費用		
支払利息	1	1
デリバティブ評価損	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	5	1
経常利益	534	371
特別利益		
固定資産売却益	340	0
投資有価証券売却益	0	16
特別利益合計	341	17
特別損失		
固定資産除却損	4	0
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	870	388
法人税、住民税及び事業税	239	86
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	239	85
四半期純利益	631	303
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	631	303

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	631	303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	615	1,391
その他の包括利益合計	615	1,391
四半期包括利益	1,246	1,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,247	1,694
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	31,943	8,136	65	184	40,330	—	40,330
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,562	45	30	93	2,732	△2,732	—
計	34,506	8,182	96	277	43,062	△2,732	40,330
セグメント利益	151	81	41	21	296	1	297

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、棚卸資産の未実現利益△0百万円及びセグメント間取引消去1百万円
であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	31,501	7,764	68	171	39,505	—	39,505
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,022	39	26	90	3,178	△3,178	—
計	34,524	7,803	94	261	42,683	△3,178	39,505
セグメント利益	57	42	32	18	150	△0	150

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円及びセグメント間取引消去1百万
円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。